三和新報
THE SANWASHIMPO
第757号　昭和29年6月17日第三郵便物便認可
日刊　日曜・祝・祭日を除く　講読料1カ月80円
10月22日（月曜日）
発行者
三和新報社
平市田町
電話1053

裏板類
ラワン及びベニヤ
特種丸太
資金回収のため大口は特に相談します
磐城市本局前
井沢林産
電話104番

中小企業に年末融資
（50万以内）保証協平支部で斡旋

県信用保証協会平支部（平市字菱川二七平商工会館内）では中小企業年末融資をつぎのような要領で斡旋している。県全体の融資保証枠は銀行二億万円　相互銀行二千万円、信用金庫二千万円、信用組合千万円商工中金五千万円、国民公庫二千万円計三億二千万円で資金使途は年末に必要な増加運転資金融資期間は九十日以内（商工中金　国民公庫その他特別のものを除く）保証金額は一人五十万円以内。貸付利率および信用保証料は貸付が銀行日歩二銭八厘以内、信用金庫　相互銀行三銭以内、信用組合三銭二厘以内、信用は日歩八厘、ただし国民金融公庫に対する融資口保証料は年二歩二厘　中小企業融資保証分が日歩五厘となつている。なお受付期間は十一月一日、から十二月十五日まで。

飯米も日毎に窮迫
小白井（川前）などは三分作
冷害地の実情報告

八月以降の低温に見舞われたのと病虫害によつて痛めつけられた石城地方の水稲は平年作をグツと下廻る八分作にこぎつけたのがヤツとであり、一部山間の寒冷地帯は皆無作のため農民は飯米の確保すら難しいと被害の実情を訴えてきている　このため、一番被害の高い遠野、三和、川前、田人の四町村長は十九日財務事務所に集り石城地方冷害対策本部を設け、二十八日代表を県に送つて本格的な冷害対策の陳情を行うことになつているが、去る十七、八の両日にわたり石城町村協議会、平経済駐在員事務室が現地を調査　被害実体をまとめた一行の調査はまず一番ひどいといわれる川前村小白井部落の調査を行つたところ、ようやく三分作だという約四十町歩の水稲はほとんど青立ち、平年でも反収八斗（二俵）の収穫がよいほうだという寒冷地帯だけに、こんどの冷害による被害では見る影もない荒れかたであり、青年たちは「こう毎年冷害で食うや食わずなら、どうせのことブラジルにでも行こうか」とまつたく気力もないありさま。とにかく平均耕作面積僅か七反白姓の小白井部落民はあす食う飯米も日毎に窮迫　七十戸の農家はなすすべもなく暗い表情で救援の手を待つているという。

一方　三和村差塩部落では平均五分作、五十町歩中部分的に皆無作で五十戸の農家は青立ち水田を眺めて青息吐息の状態である。このほか田人村井出、皿貝の両部落、遠野町入遠野附近も六分から七分作である。なお、石城地方冷害対策本部は二十一日遠野町と田人村の冷害地を調査した。

（昨年以上）の豪華さ期待
平商工会議所会頭
山崎賢助

平の菊人形

去年第一回の幕をあけいわきの一大行事産業文化祭を飾つた平の菊人形展が来月一カ月間　松カ岡公園で行われることは喜びにたえない、去年ははじめての行事にもかかわらず、多くの人を集め大盛況裡に終つて年中行事の一頁を飾つたわけだがわれわれ商工業者は今年はそれ以上の成果をあげることを心から祈ると同時に協力を惜しまない、菊人形展という大事業を年々開催されるその努力に心からの敬意を表するものである。最近観光事業が活発化して外客誘致に全力をあげているとき菊人形展が年ごとにさかんになることはまことに当を得たものでそのはたす役割も重大である。こんども市側と協力して一段の努力を払い春の桜まつり、夏の七夕まつりと共に秋の菊まつりが春、夏、秋の三大行事の一つとしてますます充実した内容をもつたものにして欲しい。開場まであと十日ほどだが去年以上の豪華な菊人形展になることを信じ盛会を祈ります。

秋の最大行事
平観光協会副会長
野崎満蔵

石城地方は海水浴場　水石山自然厚生園、赤井嶽薬師、夏井川渓谷など数多くの観光地に恵まれていながら観光客を誘致できるような大きな行事、しかも長期間にわたつて行う行事のないことを非常に残念に思つていたのです。菊人形展は、この意味で実に当を得た行事で、しかも子供から老人にいたるまで楽しめるよい催しものだ。

また菊は古来からわれわれ日本人の趣味にあつた花であり、その情緒と芸術味豊かな催しものとしては秋の行事として一番ふさわしい。とに角　石の上にも三年という諺がありますが、ことしはその二年目、昨年の一回目は予想以上の大盛況で商店街に寄与するところ大きく大成功と思つている。来年こそは市でも本腰を入れ、平市を中心とした四市が一致協力、平の菊人形から磐城の菊人形として当地方秋の大行事の一つに盛りあげるように各市の為政者が本気になつて考えるべきだ　二本松の菊人形も　今年からはじまつた福島の菊人形も県からの補助を多くもらい全市を挙げた大きな行事としています平の菊人形が県から補助がないようだが　出ないのは平市観光協会が県観光連盟に加入していないからです。できるだけ加入し明年度は県からも補助をうけるなどあらゆる方法を構じて外客誘致のためにやるようにしていただきたい。私も微力ではありますが、県下一の菊人形展を目標に協力したい。

石田君ら入賞
交通安全画劇

常磐署では交通安全に関する画劇を一般から募集中だつたが七篇あつまつたので審査を行い次の三氏の作品を選び二十日表彰した。▽教育委員会学校教育係石田元宣（青い顔と曲つた耳と伴創膏のくちばしの話）▽常磐炭鉱磐崎鉱保安係志賀麒一郎（仲よし通学団）▽湯本高校二年生橋本秀実（十字路物語）

市川巡査（平署）が優勝
交通安全競技会で

交通安全旬間行事の一環として行つた平署主催、石城地区五署警察官交通整理競技会は二十日午後一時から平市三十メートル交叉点で五十嵐審査委員長、野崎、大竹、鈴木、並木各委員立合いで十二名の選手が出場して行い、平署の市川松治巡査が優勝した。成績次の通り。

①市川松治巡査（平署）②菅野一夫巡査（機動隊平分遣隊）③菊地新次郎巡査（平署）④高橋孝雄巡査（勿来署）⑤吉井洋意巡査（磐城署）

平料芸（組合）箱根見学

平料芸組合では四季を通じ先進地の見学を行つているが来る廿四日芸妓全員が、東京および箱根を見学することになり一泊二日の予定で出発する。

〝貧しい子供にあげて〟
とく名の中学生送金

とく名の一中学生がためたお小遣を「貧しい子供たちにあげて…」とおくつてきた明るい話ー

二十二日朝　平警察署平駅前派出所に一通の封書が届けられ「警察というところは恐ろしいところだと思つていましたが、このほど新聞紙上で家出した貧しい少年をあたたかく保護したうえ、厚生させてやつたことを知り、警察の方々の温情に感激の気持ちで一杯です僕の小遣いをためた少ない金ですが　貧しい子供たちにやつて下さい」と手紙と現金二百円が入れてあつた　差出人は一中学生よりとあるだけで名もわからぬが、このことを知つた署員一同は感激、さつそくこの奇特な一中学生の真心にむくいるために「頑張ろう」と誓いを新たにした。おくられた金は福祉事務所を通じ貧しい子供たちにおくつた。

林伊佐緒招待売出し
常磐専門店会で

常磐市専門店会主催の流行歌手林伊佐緒公演招待大売り出しは二十日から十一月二十五日まで行う。百円買上げごとに補助券一枚を差上げることになつており十五枚で入場できる。

山口嬢一位
街頭辯論大会

内郷署主催の市内小、中学校児童生徒の街頭弁論大会は二十一日宮地区ほか二カ所で行い次の通り入賞者を表彰した。

▽一位一中二年山口由紀子▽二位白水小六年今泉忠宣▽三位高坂小六年高村伸男▽四位白水小六年伊藤寿子▽五位高野小五年方波見義広▽六位一中一年菅野喜恵子　宮小六年鈴木文彦▽七位二中一年高野正子▽八位内町小六年菅野勝詔

28日柔道審査会

磐城柔道会（会長関内正一氏）では二十八日午前九時から平工体育館で秋の柔道審査会を開く。

よつぱらつて殴る

内郷市御台境町運送業青木実（四三）はよつぱらつて廿日午後八時半ころ同市綴町榎下未亡人会売店前で同市内町駒谷店員斎藤勇さん（三九）と口論の末顔をなぐりつけ全治一週間の傷を負わせ現行犯で内郷署に捕まつた。

加地和組に落札
湯本二小増築

常磐市建設委員会は二十日午前九時から市役所会議室にひらき湯本二小第二期増築工事ならびに糞尿処理槽敷地造成工事の指名競争入札を行い湯本二小増築工事は一千六百九十六万八千円で平市加地和組に落札、糞尿処理槽敷地造成工事は五十四万七千二百五十円で常磐市渡辺組に落札した。

平で文化講演会
安田徳太郎氏ら招き

平市尼子会では十一月十日午後六時半から平市公会堂で文化講演会を開く。会場整理費三十円。「東北人の起源」医博安田徳太郎「経済問題」経済審議庁調査課長後藤誉之助。

コーラスは大平さん
常磐婦人学級幹部決る

常磐市湯本公民館の婦人学級運営委員会は十九日午後六時半から同館に開き、各グループの正副委員長を次の通り決めた。

▽コーラス　正大平トヨ、副高子礼子▽手芸　正長谷部みよ、副大和田せつ子▽家庭教育　正渡辺トシ子、副舟木葉子▽編物　正磯上初子、副神長クニ子▽料理　台ノ山クラブ正大塚とも子、副小林しげ子　青葉クラブ正吉川フミ、副勝沼富子　品川クラブ正秋竹鍰子　副伊藤とみ子　笠井クラブ正保科ちよ子、副矢代はま子　栄田クラブ正萩野百代、副神尾美枝子　上町クラブ正上川玉子、副瀬谷ナシ　吹谷クラブ正薄葉キク、副江尻ヨネ　迎クラブ正小林とよ子、副桜井竹子

なお十月クラブ活動日程次の通り▽廿日午後一時からコーラス（公民館）▽廿二日午前九時編物（公民館）▽廿三日午前八時手芸（公民館）▽廿四日午前九時料理（台ノ山クラブ）▽廿七日午前九時料理（青葉クラブ）▽廿九日午後一時料理（公民館）

常磐で映画教室

常磐市映画教育連盟主催の市内学校めぐり映画教室は次の日程で行う。フイルムは「北風の吹く日」ほか　お母さんの仕事　など四巻▽廿一日藤原小、磐崎小▽廿三日小▽廿四日二小▽廿五日三小▽廿六日磐崎中▽廿七日二小▽廿九日一中▽卅日長倉小

菊地さんら優勝
平の囲碁会

平将棋碁楽会主催の第五十五回囲碁会はきのう同会で行われた。成績は次の通り。

A組＝①菊地保善②羽岡大勇③古内義郎④田中長助

B組＝①木下家忠②坂本政市③高木巌④上野昭三

常磐未亡人会で会員募集

常磐市未亡人会理事会は二十一日午後一時から市役所会議室にひらき隣組単位に会員の募集を開始するほか助成金の申請を県にすることをきめた。

人の往来

▽常磐市長矢吹荘司氏は国鉄バス運行陳情のため二十二日上京二十三日帰庁する。

天気予報

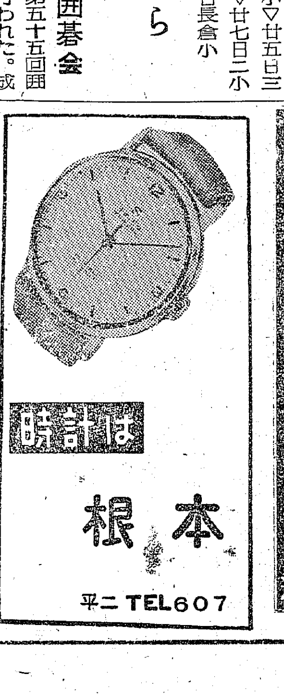
【明日】南の風曇時々小雨。

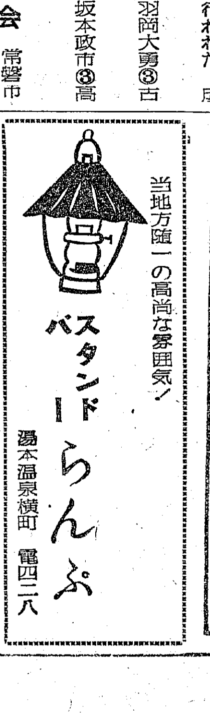
【海上】やや風波が高くなる。

個性の靴
三大メーカー品の註文ぐつ
ぎんざ二丁目店
スガタ

味覚の秋！
お家族連れでたのしい御食事
新鮮を誇る
野菜サラダ
サンドウイッチ
最上神戸牛使用の
ビーフステーキ
レストラン
パール
PEARL
平市三田小路　電二三八八

ポリエチレン袋
セロハン
サトー商会
平駅前通　電1823




当地方随一の高尚な雰囲気！
スタンド
バー
らんぷ
湯本温泉横町　電四二八

母イセ儀　葬儀の際は御多忙中にも拘らず遠路態々御会葬下され且つ御丁重なる御香奠を賜り御芳志誠にありがとうございました
実は一々拝趨の上御礼申上ぐべき筈の処略儀乍ら紙上を以て御礼申上げます
昭和三十一年十月二十二日
常磐市湯本字三函二四〇
喪主　渡辺純一
渡辺文五郎
渡辺一定
外親戚一同

本日から診療開始しました
昭和三十一年十月二十二日
渡辺医院
常磐市中央通り　電話五一二番

菊華絢爛菊人形

時頼と常世の出会い

鉢の木　或る大雪の夜のことです。道に迷つた旅の僧がかすかに灯りのもれるみすぼらしい家に一夜の宿をたのみました。その家の主人佐野常世は不遇な身の上をなげきながら粟飯をすすめ焚火がわりに秘蔵の鉢の木を惜しげもなく炉にくべて旅の僧をもてなしました。この旅の僧こそ当時諸国の情勢を見て歩いていた最明寺入道時頼だつたのです。時頼はやがて常世の暖かい心に感じて常世が失つた佐野の領土を与えたという話です。菊人形では時頼が名残りを惜しみながら雪の道をまた諸国行脚にでるというところでその見事な景色が見ものです。

片肌ぬぐ男一匹

河内山宗俊　上州屋の娘お浪の難儀を見かねたお数奇屋坊主の御存知河内山宗俊が上野寛永寺の御使僧と偽つて堂々乗りこむ松江侯の玄関先、きわどいところで北村大膳に正体を見破られたが「とんだ所へ北村大膳こうなれアそうちでけえれといつたところで」と緋の衣の片肌ぬぎ大たんか、見事娘を救い出すという、先代吉右エ門（はりまや）が大当りをとつた歌舞伎狂言天保六花撰で、緋の衣をつけた河内山宗俊がタンカをきつている場面は豪華そのものです。

ぴかぴか光るお姫様

竹取物語　竹取りのお爺さんは今日も裏の竹やぶで仕事をしていました。ところが或る太い竹の根元が金色に輝いているのです。驚ろきながらオノで切りたおしてみると、中から小さなかわいい女の子がいるではありませんか。お爺さんとお婆さんは、この子を「かぐやひめ」と名付けてたいそうかわいがりました。かぐやひめがだんだん大きくなつてお嫁さんに行くころになりましたすると、かぐやひめは毎日涙をながして悲しんでいるので、わけをきいたところ「お爺さん、お婆さん、私は天に帰らなければならないのです」と自分の身分をあかし天の使者に連れられて泣き泣き別れを告げるというもので、かぐやひめが竹の間から生れるところを目も覚める美しい菊人形であらわしています。

尾の中から剣がでる

八岐の大蛇　すさのおのみことが天高原から出雲国ひの川に天降りして或る村にさしかかりますと、娘を間にしてお爺さん、お婆さんが泣き悲しんでいます。わけを聞いてみますと八つの頭をもつ大蛇が毎年一人ずつ娘をいけにえに要求し、今年は最後の八人目の娘を大蛇にさしださねばなりません間もなく大蛇がやつてきて、娘を食べてしまうところだということです。すさのおのみことは、八つの大きなタルに酒を入れ、大蛇が酔つているうちみごとこの大蛇を退治します。三種の神器の草なぎの剣は、その時の大蛇の尾の中から出たもので、すさのおのみことが大蛇を退治するところを菊人形で表わしました。

母を尋ねる巡礼おつる

阿波之鳴門　海賊のため母を奪われたおつるは巡礼となり鈴を鳴らしながら母を探して諸国を歩きまわつています。幼いおつるは幾度も一人ぼつちの淋しさ、悲しさに負けようとしますが、そのたびに亡き母の霊にみちびかれ、みごと憎い母のかたき海賊十郎兵衛を討ち取ります。巡礼姿の可憐なおつるがお茶屋に寄つている場面を菊人形でつくりました。

幸福はどこにある

青い鳥　有名なメーテルリンクの童話劇で貧しい木こりのチルチルとミチルの兄妹は魔法使いのお婆さんに「青い鳥」こそ人間の幸福のすべてである。と教えられ、犬、猫、水、火、パン、砂糖、牛乳などの精と一しよに青い鳥を探しに出かけました。「思い出の国」「幸福の国」「未来の国」と青い鳥をさがし廻りましたが、「思い出の国」の青い鳥は「未来の国」では青い鳥でなく、「未来の国」でつかまえた青い鳥は「幸福の国」では青くありません。結局青い鳥はどこにもいませんでした。かえつて自分の家の鳥かごにいた鳩の方がずつと青く見えるのです。これこそ自分たちの探していた青い鳥だとはじめて気づいた。という世界中誰でも知つているお話で、チルチルとミチルが一生懸命青い鳥を探しあぐねているところを菊人形でつくりました。

勿来水族館開館

白鷺氏が自費で建設

勿来市財団法人白鷺安次郎氏が同市周辺の観光と自然科学知識の普及のため二百二十万円の自費を投じて市内松川磯海水浴場脇に建設中だつた勿来水族館は十九日完工二十一日午前十一時から開館披露式を行つた。

約六十坪の土地に龍宮城をかたどつた朱塗りの門構えで橋も朱塗りの欄干をつけ、施設は水槽十八、陳列室三のほかに約三坪のプールがあり近海もののホーボー、アナゴ、カレー、スズキ、イナダ、シマダイ、デコなどが泳ぎ回つている。内部はタイル張りで、換水装置も独得の工夫をこらし、本県にはいまだかつてなかつた水族館がお目見得したわけであり、開館は四月一日から九月二十日までは朝八時から午後五時まで。十月一日から三月三十一日までは午前八時半から午後四時半まで。料金は大人三十円、小人二十円、団体（三十名以上）は十円割引きとなつている。

優良赤ちやん　芳樹ちやん磐城代表に

磐城市ではこのほど優良児三十七名を選んだがこの中から一位の青木芳樹ちやんと二位の田山ナヨ子ちやんの二人は市代表として県コンクールに出場する。

▽小名浜青戸正一（岡小名）上遠野裕（吹松）倉持定美（竹町）橋本実敏（愛宕）飯田修一（林ノ上）佐藤智子（栄町）小野桂一（上町）鵜沼さい子（道珍）高島綏子（大原）▽江名地区＝佐藤教司（南町）鈴木仁（永崎）佐久間美典（折戸）西脇公子（南町）滝口照高（折戸）小檜山裕子（江の浦）中尾江里子（荻の作）▽泉地区＝藁谷博美（泉）吉田公明（滝尻）坂本厚（黒須野江越）滝内英子（下川字宿川）吉田詠治（滝尻字定の田）吉田宗緒（滝尻俊川）上遠野京子（本谷字堀の内）▽渡辺地区＝鈴木美津江（田辺字清水）草野洋子（上釜戸字清谷）鈴木明久（上野代）▽鹿島地区＝高萩庄一（米田字家の前）鈴木克枝（久保田作）佐原弓子（走熊上の神）白土久美子（上の内）▽玉川地区＝斎藤千鶴（住吉字掴町）鈴木重成（島）斎藤平子（住吉）

新箏曲リサイタル

坂本勉作品集

むらさき会主催の新箏曲リサイタルは十一月十日午後六時から平市公会堂で行われる。このリサイタルの曲目は玉葉派主宰坂本勉氏の作品で「京都の印象」〃蝶々、きらきら星、かすみか雲か〃「アレグロのための三重奏」〃時計の歌〃「六段」〃楽しき日曜日〃「散歩のすきなおじようさん」〃越後獅子変奏曲〃「独奏」〃幸多き我がふる里に捧げる歌〃

今晩のラジオ

▼NHK第一

六・〇五＝▽ナンセン
六・二五＝七ツの誓い
六・四〇＝スポーツだより
七・一五＝録音ニュース
七・三〇＝三ツの歌
八・〇〇＝お父さんはお人好し
八・三〇＝浪曲
九・一五＝街頭録音
九・四〇＝幻の部屋
一〇・一五＝物語
一〇・四〇＝新家庭読本

▼ラジオ福島

六・〇五＝トニーの童話
六・一五＝スイートコンサート
六・二五＝ドクロ銭
六・四〇＝鞍馬天狗
六・五〇＝音楽の小箱
七・一五＝人情夜話
七・三〇＝角家演芸会
八・〇〇＝五カリレークイズ
八・三〇＝歌う遊覧船
九・〇〇＝日東紡アワー
九・三〇＝コロムビアアワー
一〇・〇五＝名作アルバム
一〇・二五＝夜の希望音楽会
一一・〇五＝時事解説
一一・二〇＝ラジオ演芸欄

今晩の映画

23日まで

平市

★聚楽館（22日まで）底抜けニューヨークの休日　明日泣く（六、四〇）
★世界館　世紀の勝敗　惚れんな弥ン八（七、〇〇）
★平　館　秋場所大相撲　地下から来た男　隣の嫁（七、〇〇）
★ひかり座（22日まで）街中の拳銃に狙はれる男　殺意の瞬間（六、一三）
★東　映　振袖太平記　危うし獅子丸一平（七、〇五）
★民　劇　新しい米つくり　夜あけ朝あけ　日蝕の夏

内郷市　（六、三〇）

★第二いわき（23日まで）野郎ども表へ出ろ　女因と共に（六、四五）
★綴映劇（23日まで）夏の嵐　帰らざる河（六、三〇）

勿来市

★植田館（23日まで）喧嘩おしどり　逆光線（七、〇〇）
★菊多館（23日まで）続二等兵物語　謎の幽霊船（六、四〇）

磐城市

★小名浜東映（23日まで）復讐侠艶録　風雲黒潮丸二部　雪のほのほ（六、三〇）
★小名浜国際（23日まで）俺は犯人だ　アチャラカ大当り　日蝕の夏（六、三〇）
★いわき座（23日まで）人肌くも鬼火　腰元行状記（六、三〇）

常磐市

★湯本座（23日まで）ピクニック　女因と共に　好人物夫婦（六、三〇）

秋のコント

「良縁と灰皿」

みみちのくの秋　ある郊外

みちのくの秋　東北の入口勿来の関にほど近い、或る都市の郊外、どこからともなく金木犀の香りが流れている。

「一寸灰皿を……」と来客の、その人に乞われて母と二人のささやかな暮しに気の利いた灰皿の有つう筈もなく、道子は顔を染め乍ら「こんなものでも……」と差出したのです。それは道子が若い娘に似合ず、陶器の静かな趣味に魅かれて、時々平市一丁目の武田陶器店で集めていた品の一つでした。それは月百五十円の会費で趣味の小皿　お湯呑等を毎月配つて呉れる会で道子が勤めている職場で友達とさそい合せて入会していたのです。

「まあ、お若いのにこんな御趣味がお有りになるなんてほんとうに感心なことと」とお客様のその人はまじまじと道子の顔を見つめていました。そんな事があつて幾月か後、そのお客様が道子に良縁を持つてお見えになつたのです。若い娘さん、この頃の若い人にこんな陶器を好むと云う静かな雅いた趣味があるのかと　又そんな娘さんこそと望まれたのでしよう。嫁いでひととせ、未だ真新しいタンスの上にその小皿が飾つてある。もうすつかり若い奥様になつている道子さんが、その時の事をふつと想い出している。そしてその小皿を見上げてひとり顔を赤らめているのでした。どこからともなくあの時の様に木犀の香りが香つてくる　みちのくの秋です。静かな郊外のひととき。

楽しい　茶わんや　平市一丁目の武田陶器店では、新しい時代感覚を絶えずその商品に経営に応用して只今は若いお客さまにも親しまれていますが、こんど、趣味の頒会として、月百五十円で趣味の陶器を毎月配品いたす会を始めました　御入会には会社職場、隣組　御友人が五人以上グループで代表者の御氏名、人数、御記入の上ハガキで御申込み一括配品代金引換になつております。月一五〇円でそれハそれハ御楽しみ、近く店員が各職場毎に訪問致します、御友人御誘いの上出来るだけ多く御入会下さいませ。（広告）

スマートで
着心地よい……

特撰
学生服

小学服
KO型
セーラー服
中学服
高校服
大学服

各学年用オールサイズ

盛高屋
平市三丁目
電1608

セーコー舎の時計
セーラー万年筆
山崎時計店
平市五丁目
電話九九一番

意気でにぎって
粋な寿司
小料理
寿司
みしま
平市田町　電915

いずみ石鹸代理店
袋屋本店
TEL 615

カメラとDPは
富士商会
平駅前　電五六、二二四四

木材の百貨店
一般建築材料、建具材、坑木
ベニヤ板類、銘木、秋田杉木
津島松、木曽檜、ラワン材米
松、車輌材、枕木、電柱
株式会社　丸一材木店
取締役社長　滝口盛豊
自宅　平市五町目　電290
工場　平市禰宜町　電556
売場　平市五町目　電1162

毛布と毛糸
いつも良い品
中野洋品店
平2丁目　TEL.53

登録商標
大木屋の銘菓
水山石
電一六〇九

おいしい栗
栗鹿の子
栗むし羊かん
みよし